

【11月の休館日】3日(日)・4日(月)・11日(月)・18日(月)・23日(土)・25日(月)・28日(木)

石岡市立中央図書館

創立 130 周年記念イベント

東直子・穂村弘対談「読書と読者」 日時：12月1日(日)午後2時～

『しびれる短歌』や『回転ドアは、順番に』（筑摩書房）で共著の、人気短歌作家2人が図書館で対談。

場所：中央図書館 読書室
申込方法：11月1日(金)から、電話か図書館カウンターにて申込受付開始。



東 直子 (歌人・作家)
早稲田大学文学学術院文化構想学部教授。歌人として活躍する一方作家としても活躍。



穂村 弘 (歌人・エッセイスト)
『鳥肌が』で講談社エッセイ賞受賞。現在多数の雑誌に連載を持っている。

130周年記念展示

▼中央図書館一階において企画展示「長峰塾」「茨城県初の裁縫学校」を開催しています。ぜひご覧ください。

リサイクルフェア@商工祭

▼図書館史上初！いしおか商工祭にリサイクルフェアを出店します。

リサイクルフェアとは？

図書館で、古くなったり利用がなくなったり本や雑誌を、無償で配布する事業です。持ち帰り冊数に制限はありません。各自持ち帰り用の袋などをご持参ください。

日時／11月10日(日)

午前10時～午後4時

場所／いしおかイベント広場

※図書館内でのリサイクルフェアは、12月13日(金)・14日(土)実施予定。

11月のおはなし会

こども図書館本の森

おはなし玉手箱 2日(土)

定例おはなし会 16日(土)

ひよこのおはなしかい 14日(日)

※時間はすべて午前10時30分から

中央公民館

おはなしフレンズ

9日(土) 午後2時30分から

時の記憶

シリーズ163

舟塚山古墳の被葬者

文化振興課(支所) Tel.43-1111 (内線1323)

舟

塚山古墳は、北根本・中津川地区に存在する前方後円墳で、墳丘の大きさは186m。茨城県内最大、東日本でも2番目の規模の大古墳です。

では、埋葬されたのはどのような人物なのでしょう。これまで埋葬施設が発掘調査されたことはありませんでしたが、平成25年度に物理探査(レーダー探査・磁気探査)が行われました。

後円部墳頂では、東西14m、南北6mの長大な埋葬施設と考えられる反応が得られ、南西隅には鉄製品の埋納が予測されるような反応が得られました。前方部墳頂では、東西8m、南北2.5mの埋葬施設の反応が得られましたが、鉄製品に関する反応は得られ

ませんでした。

つまり、舟塚山古墳には、①後円部と前方部の両方に埋葬施設が存在する、②後円部側には鉄製品が多量に副葬されている、と推測できることになりました。さらに、鉄製品が武器だとすると、武器を多量に副葬する後円部の被葬者を男性の政治的・軍事的首長、武器をもたない前方部を女性の呪術的・宗教的首長と、それぞれの被葬者について想像することもできます。

ふるさと歴史館では11月7日(日)から、舟塚山古墳の最新の調査成果を紹介する企画展を開催します。

舟塚山古墳とその時代

期間／11月7日(日)

～2月2日(日)

場所／ふるさと歴史館

(石岡市総社1-2-10)

※月曜休館(祝日の場合は翌日)



▲舟塚山古墳 奥が後円部、手前が前方部

俳句

いしおか俳句同好会

東光台 小泉 ちよ子
新涼や今日の私の心電図
府中 土井 湧輔
遙かよりひぐらしのこゑ父母
の声

東光台 福田 泰夫
それぞれの歴史ある顔敬老日

石岡 森田 愛子
診察券束ねるほどや夏の暮

山崎 若色 茂
日陰から日陰へ老母草むしる

やさど俳句会

柿岡 岡村 素泡
栗の穂割れて三個の実を孕み

瓦谷 國谷 南風
山陰の風のほそ径 萩の花

嘉良寿理 島田 美沙生
風音も水音も幽か 山の秋

短歌

石岡短歌同好会

南台 海老澤 明子
通り過ぎし青田のあなたに残
りをり今は住む人あらざるわ
が家

大砂 藤岡 みつ子
百歳を二つもこゆるうた人は
今日も娘に指示を出している

山崎 若色 茂
コロッケを経木で包む昭和あ
り経木を知らぬ人あまた居り

八郷短歌会

山崎 鈴木 董
何処より移り来たるや白百合
の広き畑中に楚々と咲きつぐ
山崎 西口 はま子
あの場所はジンジャーこは銀
木犀と香りに出会う三キロの道

俚謡

石岡俚謡会

若松 川崎 洋子
盆に並んだ 半月スイカ
種を飛ばした 祖母の庭
南台 香俱耶姫
立ち居振る舞い 仕草も決めて
にわか茶人の 悦に入る

国府 坂下 蜻蛉
ラジオ体操 広場の子らに
老けた新顔 仲間入り

東大橋 醍醐 正夫
夏の暑さを 花火が散らしゃ
川に涼しく 消える星
山崎 若色 茂
暑中見舞いに 水分ほぎゅう
わすれないでと 孫の文字

総社 暁 夢華
温い情けの ロボット知るや
一人暮らしの 友となる

川又 前島 節子
津波原発 8年過ぎて
なおも心に 黒い影

細谷 高橋 真希
母の定年 祝って父が
連れて歩いた 温泉地
東石岡 惣野代 英子
蝉の一生 短い命
残る未練を 鳴きあかす

川柳

いしおか川柳会

石岡 石塚 芳華
故宮展翡翠に栄華語らせる
小幡 岡野 はつ子
同窓会締めは校歌の大合唱
総社 小林 凧
目標の親の歳超え新たな日

投稿作品

短歌

石岡 赤津 貞行
愚痴言わぬ妻の大声子を育て
我を叱咤しとても頼もし
柴内 羽生 俊
嫁ぐ来て農業一筋七十年
心身疲れ土に別れを

第15回 石岡市民謡舞踊連合会

文化協会だより

昭和32年12月、清藤会（宮下町）が民謡舞踊団の結成式を挙げて発足したことが民謡舞踊団体の誕生となりました。当時の会員数は30名程度でした。この翌年から、2年に1回、民謡踊りの発表大会を開催していきました。昭和43年5月、石岡市民会館が完成し、その落成式に出演するにあたり、石岡市民謡舞踊連合会が結成されました。その落成式のこけら落としに併せて第1回文化祭が開催され、本会は石岡市民謡舞踊連合大会として参加しました。なお、参加団体・会員数は昭和63年がピークで35団体750人となっていました。

会員数：約200名
年会費：1,000円（文化祭・夏祭り大会に参加する場合、舞踊一曲2,000円・民謡一曲1,500円）
☎石岡市民謡舞踊連合会 Tel 23-9983(西牧)

大正琴体験講座

日時：11月13日・27日・12月11日・25日(日)
午後1時30分～3時
場所：国府地区公民館
参加費：無料
☎石岡大正琴愛好会
Tel 24-0588（沖田）